



けんびょういん

No.33

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 平成28年1月31日発行 第33号

発行責任者／原田 明生

ホームページアドレス <http://www.tajimi-hospital.jp/>

編集／地方独立行政法人岐阜県立多治見病院広報委員会

理事長兼院長 原田 明生



新年のご挨拶

新年おめでとうございます。新しい1年が皆様にとって、また私たち県病院にとっても良い年になります事を祈念しております。今年の年末年始も、多くの患者さんが救急外来を受診され、あるいは入院加療を続けながら新年を迎えるました。業務に携わった全ての病院職員の皆さんに改めて深く感謝を致します。当院は今年も地域の皆さんに安心して頂ける質の高い医療を提供してまいります。

日本の医療の動向

過去数十年にわたって世界一質

が高いと言われてきた日本の医療が、今大きな曲がり角に差し掛かってきました。その大きな理由が医療費の増大です。高額な医療機器や薬剤の登場によって治療効果は格段に向上了しましたが、一方それにかかる費用も著しく高騰してきました。また高齢者の医療費は現役世代の何倍もかさむため、今後の高齢者増加に伴つて医療費がさらに大きく増加することが予想されています。国は医療費抑制のため、入院費の高い急性期病床から回復期、慢性期病床へ、また

新年おめでとうございます。新しい1年が皆様にとって、また私たち県病院にとっても良い年になります事を祈念しております。今年の年末年始も、多くの患者さんが救急外来を受診され、あるいは入院加療を続けながら新年を迎えるました。業務に携わった全ての病院職員の皆さんに改めて深く感謝を致します。当院は今年も地域の皆さんに安心して頂ける質の高い医療を提供してまいります。

過去数十年にわたって世界一質

高い医療を致します。当院は今年も地域の皆さんに安心して頂ける質の高い医療を提供してまいります。

当院は昨年、独法化以来5年間の実績について各方面から高い評価を得ることができました。頑張つた職員、支援して頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。一方で今年は新しい対応を迫られる年となりそうです。今年4月に行われる診療報酬改定は医療機関にとって厳しくを診療する役割を担っています。しかし一般の患者さんにとっては、自分の状態がどの段階にあるのかわかりづらいのが現実です。まずかかりつけ医を受診し、診察の結果必要に応じて当院を紹介受診して頂くシステムをさらに周知していく必要があります。

過去数十年にわたって世界一質

高い医療を致します。当院は今年も地域の皆さんに安心して頂ける質の高い医療を提供してまいります。

県病院を取り巻く状況

当院は病院の役割分担のなかで、特に高度急性期や急性期の患者さんは診療する役割を担っています。しかし一般的な患者さんにとっては、自分の状態がどの段階にあるのかわかりづらいのが現実です。まずかかりつけ医を受診し、診察の結果必要に応じて当院を紹介受診して頂くシステムをさらに周知していく必要があります。

当院は病院の役割分担のなかで、特に高度急性期や急性期の患者さんは診療する役割を担っています。しかし一般的な患者さんにとっては、自分の状態がどの段階にあるのかわかりづらいのが現実です。まずかかりつけ医を受診し、診察の結果必要に応じて当院を紹介受診して頂くシステムをさらに周知していく必要があります。

機関として保健所の依頼を受け、患者発生に備えての待機態勢をとりました。今年も各種感染症に対して、迅速かつ適正な対応ができるように体制を整えてまいります。

おわりに

当院は病院の役割分担のなかで、特に高度急性期や急性期の患者さんは診療する役割を担っています。しかし一般的な患者さんにとっては、自分の状態がどの段階にあるのかわかりづらいのが現実です。まずかかりつけ医を受診し、診察の結果必要に応じて当院を紹介受診して頂くシステムをさらに周知していく必要があります。

当院は病院の役割分担のなかで、特に高度急性期や急性期の患者さんは診療する役割を担っています。しかし一般的な患者さんにとっては、自分の状態がどの段階にあるのかわかりづらいのが現実です。まずかかりつけ医を受診し、診察の結果必要に応じて当院を紹介受診して頂くシステムをさらに周知していく必要があります。

特集コーナー①

秋まつり・年間イベント

平成27年11月1日(日)、当院敷地内において『県立多治見病院秋まつり』を開催しました。毎年秋に行われてきた県立多治見病院秋まつりも5回目を迎えることができました。当日は天候にも恵まれ、盛大に行うことができました。ステージイベントでは病院職員による“タジミンジャー”というヒーローショーを新たに行いました。ベースでは、世界糖尿病デーイベント、脳卒中予防緩和ケア紹介など、昨年にはなかつたブースも出展され、さらにパワーアップした秋まつりとなりました。

当院では秋まつりの他にもさまざまイベントを開催しております。今年度のイベントスケジュールは以下のようになっています。また、当院公式のフェイスブックも公開を開始しました。フェイスブックの中でイベントのお知らせも発信していくので、ご興味のある方はぜひチェックしてみてください。



岐阜県立多治見病院 公式フェイスブック

平成27年10月から当院公式フェイスブックを公開し始めました。ぜひアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/tajimihospital>



岐阜県立多治見病院 平成27年度イベント一覧

開催日	イベント内容
H27 5月11日	看護の日企画「看護師によるミニコンサート」
6月25日	健康づくり講座「糖尿病について」
7月20日	健康づくり講座「健康食品とくすりの使い分け」
8月7日	健康づくり講座「漢方薬について」
8月11日	ふれあい看護体験(高校生対象)
10月11日	市民公開講座「夢への前進 心臓カテーテル治療でみなさんの夢を叶えましょう。」
10月11日	健康づくり講座「救急について」
10月29日	健康づくり講座「もっとよく知る認知症のお話」
11月1日	県立多治見病院秋まつり
11月10日	健康づくり講座「消化管の腹腔鏡を用いた手術」
11月14日	市民公開講座「これから生き方を考える～とらわれない生き方～」
11月27日	健康づくり講座「生活習慣病予防の食事」
12月2日	健康づくり講座「心肺蘇生法」
H28 1月11日	市民公開講座
1月23日	健康づくり講座「花粉症について」
2月25日	健康づくり講座「もっとよく知る認知症のお話」
3月4日	健康づくり講座「生活習慣病予防の食事」

患者さんの権利と責務について

医療は、患者さんと医療従事者との信頼関係の上に成り立っています。当院では、患者さんに信頼され、安心して受診していただき、よりよい医療を提供できるように、患者さんの権利と責務について、以下のように考えています。ご理解の上ご協力をお願いします。

患者さんの権利

- ① 皆さんが平等かつ公平に、安全で最良の医療を受けることができます。
- ② ご自身の病気や治療について、納得できるまで説明を受けることができます。
- ③ ご自身の治療内容について、治療方法を選択または拒否することができます。
- ④ ご自身の診療にかかるすべての情報の開示を求めるることができます。
- ⑤ セカンドオピニオン(別の医療機関、他の医師の意見)をいつでも求めることができます。
(がんについてのセカンドオピニオンは、事前に予約が必要です。)
- ⑥ 個人情報は保護され、プライバシーは尊重されます。

患者さんの責務

- ① ご自身の病歴、薬歴、症状などの健康に関する情報は、できるだけ正確にお伝えください。
- ② 治療などの説明について十分納得された上、選択された治療方針に沿って治療に専念してください。
- ③ 全ての患者さんが、適切な療養環境で治療に専念できるよう、社会的ルールや病院の規則を守り、職員の指示に従ってください。
- ④ 適切な医療を維持していくために、医療費を遅滞なくお支払いください。

診療科便り

循環器チーム

(循環器内科・心臓外科・血管外科)

当院には、10名の循環器内科医師、2名の心臓外科医師、1名の血管外科医師が常勤しております。

第30号、第31号のこのコーナーで、循環器内科が手掛けるカテーテル治療を紹介しました。今回、まずはカテーテル治療の新しい治療機器についてご紹介します。名前はクリッサーといいます。カテーテルの先端チップに200000回／秒の振動と20μのストロークを生み出し、機械的振動による物理的衝撃及び高速振動によるマイクロバブルが分子レベルで破碎していきます。その性質を利用して、非弾性物(カルシウム・動脈硬化)を貫通させます。一方、弾性物(皮膚・血管壁)は貫通しにくくなります。当院では2015年に導入し、下肢閉塞性動脈硬化症の患者さんの治療に役立てております。(図1～4)



図1

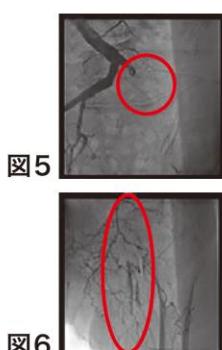


図5



図6

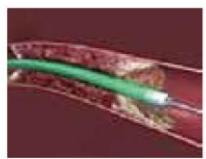


図4



図2



図3

つぎに、血管外科とのハイブリッド治療について紹介します。ある患者さんが足の壞疽で来院されました。造影しますと、左腸骨動脈及び大腿動脈が閉塞していました。通に成功しました。血流が増加したうえで、足の壞疽の処置を続けていきます。(図7～8)



図7



図8

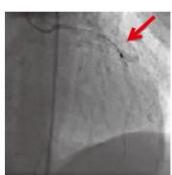


図9

この状況下での単独のカテーテル治療は困難を極めます。そこで、まず、血管外科医が左の大腿部を麻酔下で皮膚切開し、動脈を露出します。つぎに、動脈を切開し、詰まっている血栓成分を取り除きます。ついで、カテーテルを用いて、腸骨動脈にステントを留置します。さらにカテーテルを用いて、大腿動脈をバルーンで拡張します。結果、左下肢動脈開通に成功しました。血流が増加した

動脈カテーテル治療はすべての患者さんに可能というわけではなく、冠動脈バイパス術が必要な場合もあります。また、心臓弁膜症、大動脈解離・瘤の治療においても外科医が必要です。循環器内科医が行うカテーテル治療の一つであるロータブレーダー(ドリル治療)は心臓外科医が必須となっています。(図9)

診療科です。第30号でお示しした冠心臓外科も循環器にとって大切な

当院循環器チームは24時間体制で、急性心臓・血管疾患に対応します。また、毎週チームカンファレンスを開催しています。患者さんにとって最適な治療法を提供していきますのでよろしくお願ひいたします。

特集コーナー②

ボランティア

当院では、これまでに135名の方がボランティアとして登録をし、84名の方が実際に活動されています。花壇の整備、総合案内、結核病棟・外来・オアシス前の作品の展示、緩和ケア病棟と多種多様な場面で活動して頂いています。

当院のボランティアさんのうち、緩和ケア病棟で活動されている方は現在40名です。緩和ケア病棟では1ヶ月のイベントスケジュールを作成し、病棟スタッフとボランティアさんがチームを構成して、互いに協力しながらケアを提供しています。さらに、花見、夏祭り、めだか池の清掃、月見など年間のイベントも行っています。「ボランティアをする」ということは、「自分の時間を無償で提供する」ということであり、また、それは「支えられた自分の『いのち』を自分以外の誰かに与え、援助する」ということです。私は本年度5月から、ボランティアコーディネーターとしてボランティア研修、イベントの調整等を行っています。そして、ボランティアの方々との話し合いを大事にしながら勤めさせて頂いています。これらもボランティアの皆さんが円滑に活動できるよう、「和」を大切にして取り組んでいきたいと考えています。

ボランティアコーディネーター

河村 銘子



月見会(音楽療法)



ボランティア総会



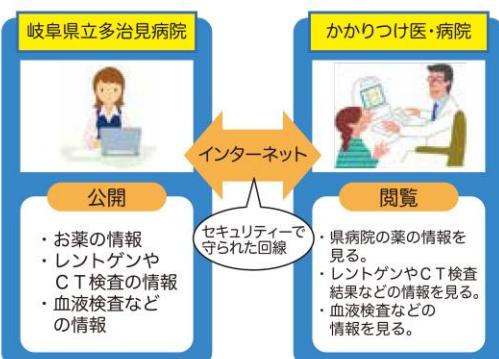
「ぎふ清流ネット」を始めました。

平成27年10月1日より「ぎふ清流ネット」を開始いたしました。このシステムは、患者さんが当院で診療されたときの情報が、かかりつけ医でも閲覧できる仕組みです。現在、「ぎふ清流ネット」に登録し情報公開している病院は、岐阜市民病院、長良医療センター、松波総合病院、岐阜県総合医療センター、当院の5つです。「ぎふ清流ネット」に参加するメリットとして次のことがあげられます。

かかりつけ医では、患者さんが当院を受診した時の状況や治療内容についての情報を活用でき、治療の経過やその効果などについて、患者さんに分かり易く説明することができます。

患者さんは、種々の検査データやお薬の情報を、病院と診療所間で共有することにより、安全で質の高い診療を受けることが可能となります。また、かかりつけ医と病院との連携が強く感じられ安心感が得られます。

また、「ぎふ清流ネット」では、患者さんの診療情報を守るために次のような対策を講じています。第一に「ぎふ清流ネット」にアクセスできるのは、患者さんが同意した医師に限ります。第二に、診療情報は専用の回線を使うため、外部からの不正な進入を防ぎます。



「ぎふ清流ネット」イメージ図

「ぎふ清流ネット」の利用は、患者さんは自身で決めていたしたことになります。説明を受けて、目的や意義、安全性の確保などに納得された方のみ利用の同意をいただいております。利用されなかつた場合や途中で利用を中止した場合でも、今後の診療になんら不利益を被ることはありません。今後、東濃地区の近隣病院につきましても順次稼動を予定しております。病院間の双方向で情報を共有することによって、医療の質を高めることを目指しています。是非ご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

医師クラーク

当院では、平成22年7月から医師の事務補助者として医師クラークを配置しています。

当初は、4名でスタートしましたが、現在は40名余りを配置しており、外来の各診療科や病棟などで業務にあたっています。

配置数が大幅に増加した背景とし

ましては、医師の多忙さにあります。

医師の業務は、外来診療やそれに伴う検査や処置、病棟ではご家族等を交えた病状や治療方針の説明や回診のほか、診療科によつては手術を行うなど

実に多岐にわたります。

そうした中で、医師が患者さんに向かって時間を使つても多くの確保できるよう、医師の指示でできる事務作業に従事しているのが医師クラークです。主な業務としましては、診断書や証明書などの書類作成や診療データの入力補助、またがんや救急医療に関する統計業務、パソコンを利用したカルテの代行入力などがあります。

当院における医師クラークの業務量は年々増加しており、書類の作成件数がひと月に1000件にのぼることもあります。

そこで当院では、「質の高い業務を安定して提供できる医師クラークの体制づくり」を進めてきました。具体的な取り組みとしましては、「業務の標準化」「管理体制」「資質の向上」の3点を柱としています。

その中の「資質の向上」についてですが、まず教育体制を充実させることとし、次のような研修を計画し実施しています。



- 採用時研修：採用日から35時間の研修で、医師クラークとして必要な基礎知識と電子カルテの操作や書類作成といった技能を学ぶ研修
- 義務研修：医療の周辺法や感染対策・医療安全といった医療従事者として必要な知識を学ぶ研修

研修

※H27研修計画

◆義務：12（専門分野12）

◆任意：45（基礎35・専門10）

このような研修を通じ、医師クラークが着実に力をつけることで、医師からの信頼も厚くなり、それが一人ひとりの働きがいとなつて医師クラークの定着率も向上しました。また、計画的に育成した優秀な人材が安定して供給できる体制が整ったことで、医師の満足度も向上し、最終的には患者さんによりよい医療を提供することにつながっていくのだと考えております。

現在では、医師クラークは医師のパートナーとして医療を支える不可欠な存在となつておりますが、こうして取り組みを通じて、今後もさらに患者さんや地域の医療機関の皆様に満足していただける診療体制づくりに努めてまいります。

糖尿病サポートチーム

近年、糖尿病あるいは糖尿病が強く疑われる人は日本の国民の4人に1人以上であるといわれ、その数は年々増加しています。糖尿病は家庭での療養が重要な慢性疾患で、日常生活において自己管理が必要となつてきます。当院では医師をはじめ、看護師や管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士が連携を取り合い、院内で様々な活動をしています。

糖尿病教室

糖尿病透析 予防外来

世界糖尿病デー イベント



このような活動を行なながら、地域の方々が糖尿病医療を安心して受けられるような取り組みを行なつていただきたいと思つています。また、糖尿病に関する相談がある方は気軽にスタッフにお尋ねください。

外来糖尿病教室を年間10回（毎月第2木曜日）開催していますが、より多くの患者さんは参加していただきたいたいと思ふ。講義型から参加型の糖尿病教室に変更しました。参加者の方と病院周辺のウォーキングを行つたり、病院食の試食会を開いたりなど、参加された方に満足していただけます。

糖尿病3大合併症のひとつに糖尿病腎症があります。腎症が進むと腎不全になります。腎が透析療法が避けられなくなります。早期から腎症予防のための指導を行なう必要があります。

11月14日は世界糖尿病デーとされ、糖尿病予防や早期治療の啓発を呼びかける日となつていています。この取り組みに合わせて、当院でも毎年11月にイベントを開催しています。

今年は当院の秋まつりの中で行い、地域の皆さんに血糖測定やインスリンの注射器に触れる体験をしていただき、間食の例を展示したり、糖分たは導入時期を遅らせることが目的に医師、管理栄養士、看護師が指導に取り組んでいます。

外来診療表

平成28年1月31日現在

診療科目		初診・再診別		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	初診	佐野	塚本	水島	奥村	安部 〔1.3週〕 岩崎 〔2.4週〕	
		再診	奥村	水島	安部	岩崎	佐野	
		初・再診	加地	尾関貴紀	鈴木	塚本	福定	
			—	—	—	石原 〔1.3週〕 鬼頭 〔2.4週〕	—	
	循環器内科	初診	日比野	近藤泰	矢島	近藤泰	矢島	
		再診	堀部秀	山本博	秋田	日比野	上山	
		初・再診	吉岡	—	堀部秀 〔午前〕 ペーストカード 〔午後〕	重田	山瀬	
			—	—	—	—	—	
	膠原病・リウマチ	—	※横田	—	—	※橋本 〔午後〕	—	
	腎臓	—	三村	※尾関貴 〔午前〕	後藤	PD外来 〔午後〕	—	
	血液	佐橋 足立	岩井	佐橋	足立	岩井	—	
階	内分泌内科	初診	大川	—	杉浦	—	堀部亮	
		再診	杉浦	杉浦	堀部亮	※近藤正	大川	
		初診	—	大川	—	堀部亮 〔午前〕	—	
	呼吸器内科	初診	松浦 〔午前〕	市川 〔午前〕	矢口 〔午前〕	志津 〔午前〕 1.3.5週	今井 〔午前〕	
		再診	—	井上徳 〔午後〕	禁煙外来 〔午後〕	小林 〔午前〕 2.4週	—	
		初診	志津 井上徳 松浦 〔午後〕	今井	松浦 〔午後〕 禁煙外来 〔午後〕	市川 志津 〔午後〕	矢口 小林 今井 〔午後〕	
	神経内科	初診	毛利	青木	岸本	毛利	高木	
		再診	青木	高木	青木	高木	青木	
		初診	岸本	※遠藤 〔午前〕	高木	岸本	毛利	
整形外科	紹介初診	中島	高津	新井	高津	中島	—	
		初診	大野祐	酒井	大野徹	酒井	安藤	
	再診	大野徹	大野徹	酒井	新井	高津	—	
		再診	安藤	大野祐	中島	安藤	新井	
			—	—	—	—	※能登	
	形成外科	初診・再診	森 代務医	風戸	寺嶋	森	風戸	
	眼科	初診・再診	大岩	—	大岩	大岩	大岩	
		初診・再診	長坂	長坂	—	長坂	長坂	
	放射線治療科	初診	浅野 林真	柳 林真	宮内 林真	浅野	宮内 林真	
		再診	林真	宮内	—	柳	浅野	
		地下	柳	林真	浅野	宮内	(柳)	
	放射線診断科	肺生検	—	—	—	—	古池 (午後)	

■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)

■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)

・予約のない方の診察受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時まで。

・救急診療については、救急外来受付(内線2511)まで、お問い合わせ下さい。

・各診療科担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。

また、異動により担当医師が変更する場合があります。

・女性外来の予約は、医療連携室へご連絡下さい。

※は非常勤医師です。

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんは、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

当日の予約(平日) 8:30～11:00
電話予約受付時間 翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。

※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。

※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

初診患者さんのFAX・電子メール予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXまたは電子メールで送信していただければ予約できます。

①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号 ⑤電話番号(自宅及び連絡先電話番号)

⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号(保険証記載のもの) ⑦受診希望診療科名 ⑧受診希望日時

⑨紹介状(診療情報提供書)の有無

初診予約用FAX 0572-21-1022

初診予約用電子メール yoyaku@tajimi-hospital.jp

電話予約センターから折り返し電話確認をし、登録完了となります。

※FAXや電子メールの折り返しの電話は電話予約センターの受付時間内となります。また、送信されてもすぐにご連絡できない場合があります。万が一電話予約センターから連絡がない場合(休日以外の日で24時間以上ない場合)は、予約専用電話でお知らせください。